

大学セミナーハウス主催 第13回新任教員研修セミナー

拡張されたアクティブ・ラーニングと 未来の学び

デジタルに拡張された 新たなアクティブ・ラーニング型授業 のあり方を探る

Extended Active Learning and Future Learning



オンラインでの事前学習
+ 合宿研修

オンデマ
ンド講義

オンライン
セミナー

合宿
セミナー

2023.8.20 (日) 【オンラインセミナー (Zoom)】
2023.8.28 (月)～29 (火) 1泊2日 【合宿セミナー】
開催場所：大学セミナーハウス (東京都八王子市下柚木 1987-1)

新型コロナウイルス感染症の法的位置付けの5類へと引き下げが近づきました。しかし、それに先立って、大学の授業はすでに以前の姿に戻りつつあるようです。教室での対面の授業に見られる学生たちの活気に、大きな喜びを感じる大学教員は少なくないと思われます。しかし、「以前の姿に戻る」だけでは、あまりにももったいないというのもまた否定し難い事実です。コロナ禍期間中に利用を余儀なくされたITを活用した学びと、対面でしか実現困難な学びを、適切かつ効果的に組み合わせる学習が可能になったからです。

コロナ禍以前には、たとえば、事前のeラーニングと対面学習を組み合わせたブレンド型学習が「教育界の破壊的イノベーション」などともてはやされる一方で、実際のところ、eラーニングの実施には高いハードルがありました。ブレンド型学習を実施できるなら、どんなに素晴らしい学びが実現することかと思いつつも、ほとんどの教員にとっては「事前の動画視聴って、どうしたらいいんだろう」「そんな装置はないし」とため息をつくのが関の山でした。ところが、コロナ禍を経て、そうした状況は文字通り一変しました。その気になれば、「教育界の破壊的イノベーション」に手が届くようになったのです。

第13回新任教員研修セミナーでは、デジタルに拡張された新たなアクティブ・ラーニング型授業のあり方を探ります。このことに対応して、より体験的にその方法を学ぶことができるように、新任教員研修セミナーは、実施方法を従来の2泊3日の合宿研修から、オンラインでの事前学習プラス1泊2日の合宿研修に生まれ変わります。オンラインと対面の良さを組み合わせ、参加者と講師陣が重なる熱い対話の先には、まだ見ぬ未来の学びが姿を現わすことでしょう。

大学セミナーハウスは、大学教員相互の交流を図ることによってわが国の大学教育の向上・発展に寄与することを目的としており、今年度も学術・文化・産業ネットワーク多摩との共催で国公立大学の枠を越えた本セミナーを企画しました。みなさまのご参加を心よりお待ちしております。(運営委員長 菊地 滋夫)

募集要項

【対象】国公立大学で授業を担当する新任教員(年齢不問)、新任以外の教員、非常勤講師

【定員】40名(宿泊はシングル使用)

【参加費】大学セミナーハウス協会会員校教員 25,000円、ネットワーク多摩会員校教員 30,000円
一般校教員 35,000円、本務校を持たない非常勤講師 25,000円

【募集締切】2023年7月末日

【申込方法】右のQRコード、またはURL(<https://iush.jp/seminar/2023/03/508/>)より



オンデマンド講義

【講義 1】 コロナ禍を経て拡張（拡大）されたアクティブ・ラーニング

田原真人（IAF JAPAN 理事、参加型社会学会理事、デジタルファシリテーター）
対面では教師とのラポール形成によって学生をエンパワーメントできたり、行動を管理できたりするが、オンライン環境ではそれが困難になりがちだ。対面の手法をそのまま適用することはできない。しかし、学習者にオーナーシップを渡し、相互学習を促進すると共創による相互エンパワーメントが発生し、新たな学習デザインの可能性が出てくる。学習者中心で対面とオンラインに拡張したアクティブ・ラーニングの可能性について議論する。

【講義 2】 大学生の育った環境、受けてきた教育―「高大接続」の視点から―

藤井恒人（東京農工大学グローバル教育院教授）

今年の大学1～4年生の多くは2001年～2005年生まれである。“Z世代”の彼らが育った環境、受けてきた教育を概観し、大学教員が接する際に留意すべき点を参加者のみなさんといっしょに考えたい。特に2022年度から始まっている「総合的な探究の時間」の内容、そこで目指す学習スタイル、育成しようとする能力などにもふれていきたい。

【講義 3】 アクティブ・ラーニングの理論と実際

福山佑樹（関西学院大学ライティングセンター教授）

アクティブ・ラーニング（AL）は高等教育において定着してきていたが、新型コロナ禍において一方向的な講義を行うオンデマンド授業なども増加している。高等教育を一方向的な授業に逆戻りさせないためには、ALが求められるようになった背景など、基本的な考え方を理解し、その必要性を再確認することが重要である。本講義ではALの理論と実践例を紹介し、ポストコロナ時代の授業に効果的にALを取り入れるためのヒントを提供する。

【講義 4】 対面授業とオンデマンド授業の組み合わせ方の可能性

伏木田稚子（東京都立大学大学教育センター准教授）

学習者のよりよい学びを模索する上で、対面授業とオンデマンド授業の組み合わせは新たな可能性をもたらすのではないか。例えば、動画教材を活用した事前学習の後に対面で個別指導やグループワークを展開する反転授業は、理解の深化を促すと期待できる。本講義では、1) オンデマンド授業と反転授業の基本、2) オンデマンド授業の要件、3) オンデマンド授業を実践する3ステップについて、自身の実践に引きつけた理解を目指したい。

【講義 5】 困難を抱える学生の理解のために～大学におけるダイバーシティと学生支援

村山光子（明星大学発達支援研究センター）

令和3年6月、障害者差別解消法の改正法が公布され、これまで努力義務とされてきた合理的配慮の提供は、今後私立大学等において、「努力義務」から「義務」へと変更になる。障害学生数は増加傾向にあり、2021年度には過去最高の40,744名（全学生数の1.26%）となり、この傾向は今後も継続するだろう。本講義では、発達障害を中心とする困難を抱えた学生支援について、大学におけるダイバーシティという視点から検討を行い、充実した大学生活を送る支援について皆さんとともに考えたい。

***チャットツール「Slack」で講師との質疑応答、受講者間の交流を計画しています。Slackにはあらかじめ参加者を招待します。**

合宿セミナー

【セッション A】 アクティブ・ラーニングに向けた関係性作り

佐藤順子（SPA ファシリテーター）

***動きやすい服装でご参加ください。**

【セッション B】 多様性と共生・協働のための体験型アクティブ・ラーニング

諏訪茂樹（東京女子医科大学統合教育学修センター准教授）

大学での新しい仲間との出会いは、大人として成長する貴重な機会となる。学生が成長するうえで特に大切なのは、自分と諸条件や考えの異なる他者との出会いである。ところが、学生はともすると似た者同士で集まり、閉じた狭い関係性に甘んじてしまう。本セッションでは、自分とは異なる他者とも相互理解を深め、単に共生するだけでなく協働することにより、課題を効果的に解決する体験型アクティブ・ラーニングの方法を紹介する。

オンデマンド講義

8月1日（火）配信開始予定

オンラインセミナー（Zoom）

8月20日（日）13:00～15:00

趣旨説明

「拡張されたアクティブ・ラーニングと未来の学び」

- ・参加者と運営委員の顔合わせ
- ・ワールドカフェ
- ・その他（事務連絡など）

合宿セミナー（大学セミナーハウス）

第1日目 8月28日（月）

11:45～13:00	受付・昼食
13:00～14:40	開会の挨拶、【セッションA】
14:40～15:00	チェックイン
15:00～16:30	課題発表とディスカッション1
16:40～18:10	課題発表とディスカッション2
18:30～21:00	夕食・情報交換会1
21:00～	情報交換会2

第2日目 8月29日（火）

9:00～10:30	【セッションB】
10:40～12:10	課題発表とディスカッション3
12:10～13:00	昼食
13:00～14:30	課題発表とディスカッション4
14:30～15:00	ハーベスト（集合知の共有）

運営委員

委員長

菊地 滋夫（明星大学学長補佐・人文学部教授）

委員

諏訪 茂樹（東京女子医科大学統合教育学修センター准教授）
福山 佑樹（関西学院大学ライティングセンター教授）
藤井 恒人（東京農工大学グローバル教育院教授）
田原 真人（IAF JAPAN 理事、参加型社会学会理事、デジタルファシリテーター）

※所属及び役職等は2023年4月1日現在

共催

公益社団法人 学術・文化・産業ネットワーク多摩

問合せ先

公益財団法人大学セミナーハウス

セミナー事業部

TEL 042-676-8512（直）FAX 042-676-1220（代）

Email: seminar@seminarhouse.or.jp